

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年1月21日

計画の名称	安全で快適な公園づくり														
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）					交付対象	和歌山市								
計画の目標	都市において様々な役割を担っている都市公園について、利用者の安全を確保するために、施設修理や再整備に加え、遊具点検などを行ってきた。しかしながら老朽化した公園施設が多く、それらの再整備及び安全性確保は大きな課題となっている。このため、既存公園の長寿命化、バリアフリー化及び改築・更新を重点的に推進し、都市公園の充実を図ることで、安全で快適な公園づくりに寄与する。														
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園の長寿命化計画策定率を0%から100%に増加</li> <li>・都市公園の健全度調査実施率を0%から100%に増加</li> </ul>														
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考					
							当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)						
	公園施設長寿命化計画を策定予定の都市公園に対する、策定済みの公園数 (長寿命化計画策定済み公園数/95公園)						0.0%	100.0%	100.0%						
	管理都市公園数に対する、健全度調査実施済みの都市公園数 (健全度調査実施済み公園数/96公園)						0.0%	100.0%	100.0%						
全体事業費 (A+B+C)	合計	769百万円	A	664百万円	B		C	105百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	13.0%					
事後評価															
事後評価の実施体制、実施時期						事後評価の実施時期									
事後評価の実施体制						平成29年度(事業終了後)									
和歌山市にて評価を実施						公表の方法									
						和歌山市のホームページにおいて公表									
1. 交付対象事業の進捗状況															
交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	公園	一般	和歌山市	直接	和歌山市	公園施設長寿命化計画策定調査事業	96箇所の都市公園の長寿命化計画策定						46		
1-A-2	公園	一般	和歌山市	直接	和歌山市	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	美園公園等95箇所の園路広場、便益施設のバリアフリー化						371		
1-A-3	公園	一般	和歌山市	直接	和歌山市	公園施設長寿命化対策支援事業	中之島公園等95箇所における遊具の改築更新等						234		
1-A-4	公園	一般	和歌山市	直接	和歌山市	公園事業特定計画調査	公園緑地の配置及び整備計画の策定						13		
合計												664			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-C-1	公園	一般	和歌山市	直接	和歌山市	都市公園再整備事業	長寿命化計画を基にした都市公園の再整備						75		
1-C-2	公園	一般	和歌山市	直接	和歌山市	公園台帳整備事業	台帳システムの導入及び公園台帳の整備						20		
1-C-3	公園	一般	和歌山市	直接	和歌山市	秋葉山公園案内看板整備事業	秋葉山公園再整備に合わせた案内看板の整備						10		
合計												105			
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
1-C-1	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業の終了後も、既存公園のバリアフリー化及び改築・更新を推進することで都市公園の充実を図ることができる。														
1-C-2	都市公園台帳システムの導入及び児童遊園台帳の整備により、予防保全型管理へのスムーズな転換を図ることができる。														
1-C-3	秋葉山公園の公園施設を改築・バリアフリー化をするのに合わせ、案内看板を整備することで快適な公園づくりをすることができる。														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園の長寿命化計画を策定し健全度調査を実施することにより、公園施設の現状を把握できるとともに、老朽化した公園施設を計画的に更新することができた。</li> <li>・トイレのバリアフリー化を行うことで、誰でも安全で安心して利用することができた。</li> <li>・老朽化した遊具を更新することで、利用者の安全性の確保を図り、快適性の向上を図った。</li> </ul>		
II 定量的指標の達成状況	指標① 都市公園の長寿命化計画策定率を0%から100%に増加	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	100%	
	指標② 都市公園の健全度調査実施率を0%から100%に増加	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	100%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でも安全で安心して公園を利用できるようにすることで、地域住民のイベント利用も増加し、公園利用者の増加につながっている。</li> </ul>		

3. 特記事項(今後の方針等)				